

学位論文審査結果の要旨

博士課程 ①・乙	第 423 号	氏名	土持 君葉
審査委員		主査氏名	伊達 紫
		副査氏名	北村和雄
		副査氏名	高宮 秀博
<p>[論文題名]</p> <p>Tsuchimochi W, Kyoraku I, Yamaguchi H, Toshinai K, SHiomi K, Kangawa K, Nakazato M: Ghrelin prevents the development of experimental diabetic neuropathy in rodents. Eur J Pharmacol 702: 187-193 (2013)</p> <p>[要旨]</p> <p>GHS-R の内在性リガンドとして発見されたグレリンには、成長ホルモン分泌促進や摂食亢進作用に加え、炎症や酸化ストレス抑制作用がある。本研究は、B6 mice、GHS-R 欠損マウスおよび成長ホルモン欠損マウスを用いて、ストレプトゾトシン投与による糖尿病モデルを作製し、グレリンを投与することで糖尿病性神経障害の進展の程度を比較したものである。グレリンは、B6 マウスおよび成長ホルモン欠損マウスの糖尿病性神経障害の発症を予防したが、グレリン受容体欠損(GHS-R 欠損)マウスでは、その効果は認められなかった。従って、グレリンは、成長ホルモンを介してではなく、グレリン受容体を介して直接、糖尿病性神経障害の予防に寄与することが明らかになった。</p>			